

重点検討事項に関する部会設置について

1 部会設置の目的

現在、文化審議会において重点検討事項としている「文化芸術関係者の持続的な活動に向けた支援のあり方」について、滋賀の文化的資産をつなぐ仕組みづくりに向けた検討を進めるため、滋賀県文化審議会規則第5条第1項に基づき、「(仮称) 重点検討事項調査研究部会」を設置する。

2 審議内容(案)

- ①重点検討事項の取りまとめ（令和3～7年度）
- ②文化振興基本方針（第4次）への反映
- ③今後の施策検討

3 部会設置要綱および部会委員について

「滋賀県文化審議会重点検討事項調査研究部会設置要綱（案）」により部会を設置する。
部会委員については、滋賀県文化審議会規則第5条第2項に基づき、会長が指名する。

4 今後の予定(案)

回数	開催時期	審議事項
第1回	4月下旬から5月上旬	目的達成についての実施方針の検討
第2回	5月下旬から6月中旬	重点検討事項の取りまとめ、施策検討
第3回	6月下旬から7月上旬	基本方針への反映

滋賀県文化審議会重点検討事項調査研究部会設置要綱（案）

（趣旨）

第1 滋賀県文化審議会（以下「審議会」という。）は、滋賀県文化審議会規則（平成21年8月24日滋賀県規則第56号。）第5条の規定に基づき、文化芸術関係者の持続的な活動に向けた課題やニーズを把握し、施策検討や他分野の施策との連携等を進めるため、重点検討事項調査研究部会（以下「部会」という。）を設置する。

（会議）

第2 部会長は部会に属すべき委員および専門委員の互選によって定める。

2 部会長に事故あるとき、または部会長が欠けたときは、部会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（関係者の出席）

第3 部会は、必要があるときは、議事に関係のある者の出席を求めて、その説明を受け、または意見を聴くことができる。

（庶務）

第4 部会の庶務は、文化スポーツ部文化芸術振興課において処理する。

（細則）

第5 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し、必要な事項は部会長が定める。

付則

この規定は、令和7年 月 日から施行する。